

# 令和4年度行政評価（令和3年度対象）シート

## 政策5 魅力に満ちた活力のあるまちをつくる

### 施策501 観光の振興

主担当課：産業課

#### ○施策の目指す姿

地域資源を活用した観光の振興が図られ、地域の活力が醸成されるとともに、市外からの来訪者が増加しています。

#### ○施策の展開

- 魅力あるまつりの開催
- 観光施設の魅力向上の推進
- オリジナル土産品の開発・情報発信
- 観光地域づくりの推進
- レンタサイクルの運営
- 観光情報発信力の強化

7 観光活動を行う団体への支援

#### ○令和4年度 事務事業評価実施事業（令和3年度対象）

- 観光誘客促進費
- まちの観光・産業賑わいプロジェクト費
- レンタサイクル費
- 観光協会事業費補助金

## I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

### ○施策の関連データ

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
清洲城の有料入場者数（人） ※清須市調べ	72,378	61,123	59,381	35,786	46,299
清洲ふるさとのやかたでのおみやげ品販売額（千円）※清須市調べ	11,983	10,736	12,607	7,185	10,553

### ○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 清洲城、キリンビール名古屋工場等の特定の施設見学のみで周遊せずに終わってしまう点が、清須観光の構造的な課題となっている。このことが、飲食等での観光消費に結びついていないことで、結果的に市内事業者への恩恵が限定的である。
- まちの観光・産業賑わいプロジェクト費（地方創生推進交付金充当事業）では、上記の課題に鑑み、観光周遊の仕組みと魅力ある特産品（定番グルメを含む）の開発によって、観光消費の拡大を図る方向性を公民で共有・連携しながら事業を組み立てることを志向する。
- 清洲城は、今後、更なる誘客力を発揮して、清須の観光を牽引する役割が期待されており、当該施設の管理・運営のあり方については、民間活力を導入する方向性で検討を具体化していく段階に至っている。

## II 達成度指標の状況

※達成状況については、目標値を上回る見込…◎、目標値を達成見込…○、目標値の達成が難しい見込…▲、現状値を把握していない…ーとして

達成度指標	基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成見込
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
市民満足度調査における満足度	20.5% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	—	17.7% (令和3年度)	▲
休日の滞在人口率（各月の休日平均滞在人口 [14時] / 国勢調査人口の年平均）※	0.89倍 (平成29年度)	0.93倍 (令和6年度)	0.88倍 (令和元年度)	0.93倍 (令和2年度)	1.03倍 (令和3年度)	○
清洲城の入場者数（有料）	61,123人 (平成30年度)	85,000人 (令和6年度)	59,381人 (令和元年度)	35,786人 (令和2年度)	46,299人 (令和3年度)	▲

後期計画期間の達成状況の分析

- 市民満足度調査では、前回調査に比べ、観光振興に関する満足度が2.8ポイント低下している。不特定多数の人出を想定したイベントを自粛せざるを得ない時勢にあって、一時的な数値低下はやむを得ないものと受け止めている。ただし、ウィズコロナで推進できる施策は、市民の理解を得て推進したい。
- 清洲城の入場者数は若干持ち直しているものの、9月の緊急事態宣言発令に伴う閉館措置をはじめ、入場制限の継続など、新型コロナウイルス感染症の影響は引き続き被っている。12月18日に行った「きよすフェス」を除いて、全ての誘客イベントや武将隊によるおもてなし業務を停止しており、観光事業を事実上自粛した結果が入場者数に現れている。
- 休日の滞在人口率は、コロナ禍に入って以降、ステイホームの影響もあって、数値的な伸びがみられる。観光誘客の結果ではなく、市民の外出自粛を反映した結果と見られる。

## III 令和3年度の主な取組結果

### 【まちの観光・産業賑わいプロジェクト費】

- 市内の中小事業者が観光を通じて潤う仕組みを構築することを目的として、令和2年度から3箇年計画で取り組んでいる。令和3年度は、前年度の検討内容を受けて、以下に列記する具体的な成果物を実施することができた。観光消費の向上に資するコンテンツの生成につながっており、順調に事業目的を達成することができている。

- (1) ご当地グルメ（清須からあげまふし）  
⇒ 市内7事業者（9店舗）が参画。メディア露出も多く、参画事業者の売上向上に貢献。今後、参画店舗のさらなる拡充を目指し、定着と成長を志向する。
- (2) 観光情報発信コンテンツ（観光協会の①新ホームページ、②冊子（①の概要版）、③ショートムービー）  
⇒ 従前の歴史偏重、文字中心の内容を見直し、若年層が清須へ関心を持つ契機となるような特集を中心に再構成。コンセプト：英気充実きよスポット（何かを始める元気を届ける清須の観光情報を発信）

## IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲としている。

事業名	決算額（千円） [執行率（%）]		活動指標①			活動指標②				
	令和2年度	令和3年度	R3目標値	R3実績値と達成状況	R3目標値	R3実績値と達成状況	R3目標値	R3実績値と達成状況		
観光誘客促進費	182 [12.8]	169 [85.8]	清洲城おもてなし業務の実施日数（日）	116	0	—	清洲城及び清洲ふるさとのやかたにおける「kiyosuFreeWiFi」への接続件数（件）	4,000	1,731	▲
事業の有効性の評価	訪日外国人をはじめ清洲城等への来場者が増加し、ボランティアによる観光ガイドや武将隊の活動基盤が安定することで、活動の維持継続及び発展につながる。									
事業実施にあたり工夫した点	施策目的に逆らうことになるが、新型コロナウイルス感染症拡大の防止を最優先し、人的展開を伴うサービス（ボランティア武将隊等）は、全て自粛（中止）したものの、感染症終息の兆候が見られれば、再開できるよう保険加入等、必要な準備は行った。									
まちの観光・産業賑わいプロジェクト費	12,960 [94.4]	21,327 [98.9]	観光・産業きよす会議（仮称）の開催回数（回）	1	1	○	きよす異業種交流フェスティバル（仮称）の来場者数（人）	1,000	3,000	○
事業の有効性の評価	地域経済の活性化とシティプロモーションの促進という、本市の地域性に即した観光・産業振興の推進を担うため、観光で地域が潤う仕組みを構築に必要な事業を実施している。									
事業実施にあたり工夫した点	情報発信コンテンツの制作にあたっては、従前のような歴史偏重の観光案内や事業者情報の列記を改め、若い世代が関心を持てる切り口の特集記事（SNSで共有してもらう趣旨）に差し替えた。また、ご当地グルメ開発では、清須らしさをPRでき、誰もが楽しめるメニューで開発を進めた。収益性を求め継続的にご当地グルメ普及に取り組んでもらえるよう、事業者を巻き込んで開発した。									
レンタサイクル費	—	198 [37.5]	あしがるサイクルの利用者数（人）	170	159	▲				
事業の有効性の評価	本市は広域アクセスは優れているが、域内移動に課題を抱えているため、清洲城を起点とした二次交通手段として、市内の観光名所への周遊や、それに伴う観光消費の創出を図ることができる。									
事業実施にあたり工夫した点	清洲域内外での広告を増やし、事業の存在自体を来場者にアピールした。									
観光協会事業費補助金	1,800 [100.0]	1,800 [100.0]	観光協会の会員数（人）	200	153	▲	観光協会ホームページのアクセス件数（件）	99,000	76,720	▲
事業の有効性の評価	観光協会は、地域の観光まちづくり主体として、行政よりも柔軟性のある活動が可能であり、観光情報の発信や会員商品による観光消費の拡大を通じて、地域経済に一定の貢献をしている。									
事業実施にあたり工夫した点	新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で自粛したイベントもあるが、ポストコロナウイルスを見据えたイメージ戦略は令和2年度以来注力している点で、令和3年度も公式キャラクターグッズの開発や斬新なデザインのポスター制作等、新規HPの世界観に沿うような取組を行った。									

## V 施策の評価と今後の方向性

- 令和2年度に続き長引くコロナ禍により観光業界にはとても厳しい1年となったが、観光協会のご当地グルメ開発やホームページや情報冊子制作など、観光需要の復活を見据えた誘客体制が整い、グルメを中心としたイベントも概ね盛況を得た。
- 観光消費におけるグルメは、清洲城等複数の施設をつなぎ市内滞在時間延伸に大きな効果がもたらし、テレビや新聞などマスコミで取り上げられることで市外からの多くの誘客が見込むことができる。特に市内で生産される特産野菜を原料とした飲食料品は、話題性が豊富でマスコミ受けも期待され、更なる市外からの誘客に大きな効果が期待される上に、生産性や採算性に乏しい本市農業振興においても担い手や後継者不足などの課題に寄与することが期待される。
- まちの観光・産業賑わいプロジェクトとして、大学教授、観光協会、商工会、民間企業及び交通事業者を委員に選任し、観光・産業きよす会議を開催しており、有識者等の意見を踏まえ、市内の観光・産業を盛り上げる事業やイベントを計画、実施できていると考える。令和4年度において3箇年計画の最終年度になるが、本プロジェクトの推進により、本施策の事業全体に好影響を与えると期待する。
- 徐々に戻りつつある観光需要や円安によるインバウンド需要や来年放送開始の大河ドラマへの期待を考慮し、先を見据えた誘客促進策を検討する必要がある。

# 令和4年度行政評価（令和3年度対象）シート

## 政策5 魅力に満ちた活力のあるまちをつくる

### 施策502 商業・工業の振興

主担当課：産業課

#### ○施策の目指す姿

商業・工業の振興と安定が図られ、中小事業者をはじめとする市内の商工業者がいきいきと活動しています。

#### ○施策の展開

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1 商工会等への支援              | 7 オリジナル土産品の開発・情報発信 |
| 2 高度先端産業立地の推進           |                    |
| 3 企業の再投資への支援            |                    |
| 4 資金融資制度の利用促進           |                    |
| 5 創業に対する支援              |                    |
| 6 東京圏から移住する起業・就業者に対する支援 |                    |

#### ○令和4年度 事務事業評価実施事業（令和3年度対象）

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 1 商工業振興事業補助金 | 3 首都圏人材確保支援事業費補助金    |
| 2 中小企業金融対策費  | 4 まちの観光・産業賑わいプロジェクト費 |

## I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

### ○施策の関連データ

市内卸売業・小売業の事業所数※ 商業統計調査、経済センサス基礎 調査・活動調査	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年	令和3年
	760	679	679	660	624
市内製造業の事業所数 ※工業統計調査	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	197	194	189	186	419

### ○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、市内商工業者の経営状況や消費者心理に明るい見通しが立てられない状況が続いており、市として国・県とも連携しながら各種経済対策を推進している。令和3年4月28日公表の東海財務局による経済情勢判断では、直近の愛知県経済について「新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している」と総括しており、感染防止対策を講じつつも、各種経済対策に一定の効果を受けている。ただし、集団免疫を獲得できておらず、特效薬もない状況は当面継続するため、今後の経済動向は、予断を許さない状況である。
- 商工会は、小規模事業者支援法に基づく「経営発達支援計画」を策定し、同計画に基づいて小規模事業者の持続的発展を支援している。

## II 達成度指標の状況

※達成状況については、目標値を上回る見込…◎、目標値を達成見込…○、目標値の達成が難しい見込…▲、現状値を把握していない…ーとして

達成度指標	基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成見込
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
市民満足度調査における満足度	15.1% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	—	15.6% (令和3年度)	○
市内の民営事業所数	2,495事業所 (平成28年6月1日)	→ (令和6年度)	—	—	2,501事業所 (令和3年度)	○
市内の民営事業所の従業者数	28,535人 (平成28年6月1日)	↑ (令和6年度)	—	—	28,893人 (令和3年度)	○
創業支援事業による創業件数	18件 (平成30年度)	25件 (令和6年度)	29件 (令和元年度)	20件 (令和2年度)	16件 (令和3年度)	○

後期計画期間の達成状況の分析

- 創業件数の低調には、新型コロナウイルス感染症の拡大による地域経済の低迷を受けて、ビジネスチャンスの機会減少が背景となっていると推察。従前から廃業が創業を上回る状況があるため、ウイズ（アフター）コロナを見据えたビジネスのあり方に支援内容や方法を合わせていく必要がある。
- 市内事業者を支援する仕組みや前年度に引き続き商品券事業を実施することで、コロナ禍の長期化で停滞した地域経済の活性化に繋がり、若干ではあるが市民満足度の向上に寄与したと見られる。

## III 令和3年度の主な取組結果

- 【きよすげんき商品券】令和2年度に引き続き、30%のプレミアム付商品券を実施した。スーパーやドラッグストアに利用が集中した前年度の反省点を踏まえ、零細事業者での利用を促すため、「マル得店舗」枠を新設し、利用特典を設けた零細事業者をチラシで大きく扱う等のPR支援を実施することで、本事業の効果を実店舗が幅広く享受できるよう努めた。
- 【あいスタ認証3つ星取得奨励金】市民が安心して外食を愉しめる店舗として、「あいスタ認証」最高ランクの3つ星を取得した市内飲食店舗に対し、奨励金を交付した。これにより、市内270店舗あまりのうち、164店舗が「あいスタ認証」を取得し、内、135店舗が3つ星を取得した。
- 【接客形態事業者感染症対策強化支援補助金】市内の飲食店をはじめとする接客を伴う店舗等に対し、感染症対策に係る物品の購入や店舗設備の改修を支援した。想定を上回る207件（5,200万円以上）の補助実績となり、市内接客店舗の感染症対策の強化に貢献した。

## IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲としている。

事業名	決算額（千円） [執行率（%）]		活動指標①			活動指標②		
	令和2年度	令和3年度	R3目標値	R3実績値と達成状況	R3目標値	R3実績値と達成状況	R3目標値	R3実績値と達成状況
商工業振興事業補助金	15,002 [50.0]	30,012 [100.0]	商工会の会員数（人）			商工会が主催する講習会等の開催回数（回）		
			1,450	1,428 ▲	60	40 ▲		
事業の有効性の評価	市の商工行政では行き届かない事業者目線に立った支援主体として、清須市商工会の役割はますます重要度を増している。市は商工会に補助金を交付することで、商工会による事業承継、創業や経営改善相談などの伴走型支援体制を下支えし、本市の商工業振興に寄与する。							
事業実施にあたり工夫した点	新型コロナウイルス感染症の影響で、商工会事業を縮小せざるを得ない中、商工業振興・消費喚起施策として、市が行った商品券事業（清須げんき商品券）では、参画事業者の募集・換金等業務で市と商工会とで緊密に連携し、事業の迅速かつ着実な実施につなげた。また、あいスタ認証3つ星取得奨励金でも全飲食店舗へ事業内容を周知等について、商工会を連携することで迅速に行うことができた。							
中小企業金融対策費	107,492 [96.6]	108,571 [97.6]	商工業振興資金融資の信用保証料に対する助成件数（件）			小企業等経営改善資金融資の利子に対する補助件数（件）		
			130	41 ▲	20	0 ▲		
事業の有効性の評価	金融機関による対事業者貸付需要は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて急速に高まっているが、セーフティネット保証を始めとしたコロナ対応融資制度が開始したことによって、本市制度の利用者数は減少した。しかし、少ないながらも利用者がいたことから、コロナ対応の制度だけでは網羅することができない状況に対して一定の効果を上げることができた。							
事業実施にあたり工夫した点	新型コロナウイルス感染症の影響により経営に支障が生じた中小事業者からの相談対応において、コロナ対応の制度だけではなく本市制度についても案内し、利用のし忘れがないように注意した。							
首都圏人材確保支援事業費補助金	60 [60.0]	0 [0.0]	首都圏からの移住者に対する補助件数（件）					
			1	0 ▲				
事業の有効性の評価	生産年齢人口が首都圏へ集中している現状を打開することが地方創生機運の発端であり、本事業はまさに直接的に首都圏人材を地方へ還流するための取組として、相談窓口を設けている意義は大きい。							
事業実施にあたり工夫した点	昨年度は相談が1件もなかった。							
まちの観光・産業賑わいプロジェクト費	12,960 [94.4]	21,327 [98.9]	清洲ふるさとのやかたでおみやげ品販売額（千円）			オリジナル土産品の開発数（件）		
			12,000	10,554 ▲	2	9 ○		
事業の有効性の評価	清須市観光協会の情報発信コンテンツ（新ホームページ、冊子、ショートムービー）の実装が完了し、ホームページの訪問者1名あたりのページビュー数が大きく向上した。また、ご当地グルメとして「清須からあげまぶし」についても、イベントを通じて着実に市民に浸透しつつあるだけでなく、12月以降、毎月複数のメディアに取り上げられ、市外での認知度も向上している。							
事業実施にあたり工夫した点	ご当地グルメの開発には、早い段階から地元飲食店の協力を仰ぎ、市民参画会議で出た意見の収斂や発展的なレシピ開発に努めた。また、ご当地グルメとして定着を図るため、まずは市民の認知を得るため、シールラリーやきよすフェス等、食べ比べイベントを開催した。							

## V 施策の評価と今後の方向性

- 市独自の経済対策として、前年度に好評を得た清須げんき商品券事業を継続することで、消費喚起を図った。
- また、クラスターの発生予防強化策として、飲食店舗に係る第三者認証制度「あいスタ認証」（三つ星）の普及を図る奨励金や、接客事業者の店舗における感染症対策経費を最大50万円まで補助する事業者支援補助金を交付した。
- 特に事業者支援の取組2件は、ウイズコロナ下で地域経済を下支えするための施策として大きな反響があり、想定を上回った申請者に対応するため、増額補正予算を編成し、全件対応したことで、市内の接客事業者店舗における感染症対策の強化に貢献することができた。
- 令和4年度の観光・産業活性化プロジェクトは、ご当地グルメや情報発信コンテンツを総合的に活用した誘客モデルを試行することが課題。誘客ノウハウを蓄積するとともに、観光消費の仕組みを定着させることで、事業効果を一過性のもので終わらせないよう、公民連携した取り組みが必要。

# 令和4年度行政評価（令和3年度対象）シート

## 政策5 魅力に満ちた活力のあるまちをつくる

### 施策503 都市近郊農業の振興

主担当課：産業課

#### ○施策の目指す姿

農地の多面的機能を生かして、都市開発と均衡の取れた農業の振興が図られ、農家だけでなく市民全体がその利益を享受しています。

#### ○施策の展開

- 1 農業関係団体等への支援
- 2 耕作放棄地対策の実施
- 3 農業体験の機会提供
- 4 食育の推進
- 5 農業用施設の整備
- 6 農地等保全活動への支援

#### ○令和4年度 事務事業評価実施事業（令和3年度対象）

- |               |         |
|---------------|---------|
| 1 農業振興対策事業補助金 | 3 食育推進費 |
| 2 農業体験塾費      | 4 土地改良費 |

## I 施策の関連データ・施策を取り巻く状況

### ○施策の関連データ

	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和3年
総農家数（戸）※世界農林業センサス、農林業センサス	754	683	546	425	—
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経営耕地面積（ha）※作物統計調査	264	257	254	248	238

### ○施策を取り巻く状況（基本計画策定時からの変化など）

- 農業従事者の高齢化及び世代交代により、農業協同組合等への業務委託及び農地転用が増加し、経営耕地面積は減少している。国の施策である農地中間管理機構への貸し出しや、市の農地バンク制度の利用は例年数筆あるが、新規参加者はおらず、問題解決には至っていない。
- 市街化区域に残された農地では、都市化の進行により、ますます農業がしにくい状況になってきている。一方、都市農業振興基本法が平成27年に施行され、防災空間の確保、良好な景観の形成、農業体験の場の提供など、農地がもつ多様な機能が見直されてきている。

## II 達成度指標の状況

※達成状況については、目標値を上回る見込…◎、目標値を達成見込…○、目標値の達成が難しい見込…▲、現状値を把握していない…—としている。

達成度指標	基準値	後期計画目標値	実績値			目標値の達成見込
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
市民満足度調査における満足度	13.5% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	—	13.8% (令和3年度)	○
地産地消を心がけている市民の割合	34.7% (平成30年度)	↑ (令和5年度)	—	—	33.1% (令和3年度)	○
市内の耕作放棄地面積	34,880㎡ (平成30年度末)	28,000㎡ (令和6年度末)	38,237㎡ (令和元年度末)	36,402㎡ (令和2年度末)	49,795㎡ (令和3年度末)	▲

後期計画期間の達成状況の分析

- 農地パトロールの実施時期が秋から草木が繁茂しやすすい夏に変わったこと等により、耕作放棄地面積は平成30年度末基準値から14,915㎡増加し、令和2年度との比較でも13,393㎡増加となった。今後も農地パトロールを通じた指導の強化、JAへの無償委託等により目標値に近づけるようにする。
- 清須市の特産野菜については、市内の小中学校の一部においてPRには努めているが、まだ市場に出回る数が少ないこともあり、市民の目に触れる機会が少ない。今後地産地消を心掛けている市民の割合の増加に向けてさらなるPRが必要である。地産地消の事業として、『鮎茶庵』で地産地消の推進や空き店舗活用を目的とし、農業体験塾で採れた野菜を販売した。

## III 令和3年度の主な取組結果

- 【農業振興対策事業補助金】  
地区実行組合に対して集落活動推進のための補助を実施（組合49件、組合員959戸）。
- 【農業体験塾】  
農業の機会を提供するため、農業体験塾を開催して21名が参加、野菜の苗植えから収穫までを行った。
- 【食育推進費】  
食育推進のため、春日小学校での宮重大根の種まきから収穫までの体験、星の宮保育園でのさつまいもの収穫体験を実施した。

## IV 事務事業評価

※達成状況については、目標値を上回る…◎、目標値を達成…○、目標値を下回る…▲としている。

事業名	決算額（千円） [執行率（%）]		活動指標①			活動指標②		
	令和2年度	令和3年度	R3目標値	R3実績値と達成状況		R3目標値	R3実績値と達成状況	
農業振興対策事業補助金	1,508 [93.2]	1,464 [97.0]	地区実行組合員数（世帯）					
			983	959	▲			
事業の有効性の評価	各地区の実行組合に対して集落活動の推進のための補助を実施することにより、営農環境の充実が図られ、農産物の品質向上や農業経営の安定につなげることができる。							
事業実施にあたり工夫した点	補助金の用途を限定せず、各地域の課題に対応した幅広い用途に利用できる制度とすることにより、集落の活性化につなげることができた。							
農業体験塾費	445 [99.8]	446 [99.8]	農業体験塾の塾生数（人）					
			20	21	◎			
事業の有効性の評価	農業体験塾において1年間を通じて野菜作りの体験を通して生産者と消費者の双方の立場を理解し、今後の食のあり方を考えることができた。また、栽培した伝統野菜を学校給食に提供することにより地産地消を促進した。農業体験を通じた塾内での交流を深めることにより、地域コミュニティを活性化することができる。							
事業実施にあたり工夫した点	農業体験塾の活動の中で、より塾講師の説明を聞きやすいように新規で行う内容については、生徒を集めるように工夫した。その結果、現場での態度が積極的になったことで、塾内での交流を深めることにより、地域コミュニティを活性化することができる。							
食育推進費	600 [96.4]	1,337 [95.5]	野菜収穫体験・料理教室の開催回数（回）			食育レポートの発行回数（回）		
			12	3	▲	4	4	○
事業の有効性の評価	食に関心を持ち、食の大切さを学び、食文化の理解を深め、自然の恵みや感謝の心を育む「食育」を市民一人ひとりが実現していくため。また清須市産の特産野菜を振興することにより食を通してふれあい、育みあう街づくりを実践することができた。							
事業実施にあたり工夫した点	市が通年行っている食育レポートを年4回ホームページに掲載し、市民に食への関心を持ってもらうように啓発をした。また、食品ロスの啓発として廃棄する部分の食品を使用した料理レシピの募集を行ったり、フードドライブボックスの設置に協力した。							
土地改良費	59,669 [99.4]	66,492 [99.9]	用排水路の整備延長（m）			農道の舗装延長（m）		
			428	387	▲	0	0	—
事業の有効性の評価	土田地区、寺野地区、西田中寺野地区、西牧・新田地区、富士塚地区において、用排水路の整備等を実施することにより、農業環境が充実し、農業生産性の向上を図ることができる。							
事業実施にあたり工夫した点	用排水路の整備等にあたっては、設計段階から事業費の縮減を図りつつ、事業効果を最大限高めることに努めた。また、補助金を活用するなど事業実施に係る財源確保を行った。							

## V 施策の評価と今後の方向性

- 市内の耕作放棄地面積の減少に向けて、農地パトロールを強化し、土地所有者に対して農地の適正な管理をお願いしていく。
- 市民の農業への理解を深めるため、農業体験塾の開催やレジャー農園等の利用を促進する。
- 新規農業者の増加に向けて、農業体験塾で技術を習得した塾生を就農につなげていくための取組を進める。
- 市内の小中学生・保育園児に清須市の伝統野菜の理解を深めてもらうために、農業体験及び料理教室を実施していく。
- また市民が食育を学ぶ場として食育レポートを作成しホームページに掲載していく。

